

2019年9月21日

## 大学生の悩みとその解決策

京都産業大学 現代社会学部 木原ゼミ

学生番号：753104

名前：福重 真由

### <要旨>

私はゼミナールで、京都産業大学に通う学生の「ちょっとした悩み」を解決したいと考えている。そこで、まずは京都産業大学の学生を含む日本の大学生が、どのような悩みを抱えているのか、それらに対しどのような支援が行われているのかを知ろうと考えた。本レポートを書いたのはそのためである。

本レポートの構成は、以下のようになっている。

- ① 大学生の悩みに関する調査
- ② 国・地方公共団体・民間&大学が行っている対策
- ③ 考察・まとめ

## <キーワード>

- ① 大学生の悩み
- ② 各組織の対策
- ③ 今後の課題

## 1. はじめに

本レポートは「日本の大学生がどのような悩みを抱えているのか」、また「それらの悩みを解決するためにはどうすべきか」というテーマのもとで論じたものである。レポートによって得た気づきは、今後のゼミナール活動に利用する。

## 2. 「日本の大学生が抱える悩み」についての調査より

日本の大学生がどのような悩みを抱えているのか。このテーマに関連した調査をここでいくつか紹介しよう。

一つ目は独立行政法人 日本学生支援機構による「平成 28 年度 学生生活調査」である。この調査は平成 28 年 11 月に全国の学生 96,696 人（短期大学生、大学院生も含む）を対象に行われたものだ。この調査のうち、ここでは「学生の不安や悩み」の結果について述べる。

学生の不安や悩みについて「大いにある」「少しある」と回答した割合は、全ての学校区分において「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」が最も高かった。大学（昼間部）では半数を超え、69.3%と高くなっている。一方「あまりない」「全くない」と回答した割合は、大学（昼間部）では「経済的に勉強を続けることが難しい」が 85%程度、大学院では「学内の友人関係の悩みがある」が 90%程度で最も高くなった。前回の調査（平成 26 年度調査）と比較すると、大学（昼間部）で「経済的に勉強を続けることが難しい」を「全くない」と回答した割合は 2.2 ポイント増加していたがそれ以外ほどの区分でも大きな変化は見られなかった。

二つ目は「現役大学生 1000 人に聞いた！ 今、一番悩んでいることランキング Top10」である。この調査は「マイナビ学生の窓口」が男子大学生 503 人、女子大学生 502 人に対し 2017 年に行ったものである（資料 1 参照）。これによれば、大学生の悩みで最も多いのは「就職活動・将来の働き方」で、次に「人生や将来の生き方」が多くなっていた。

三つ目は、株式会社マイナビが行った「大学生のライフスタイル調査」である（2018年実施）。この調査は2020年卒の大学生・大学院生4,656人を対象に行われた。この調査のうち「今何にストレスを感じるか」の項目について述べる（調査結果については資料2も参照）。「今何にストレスを感じるか」について18の選択肢から全て選んでもらったところ、文理男女とも「就職活動」が1位となった。「就職活動」にストレスを感じている割合は男子の5割弱、女子の6割前後となっている。各分類のトップ5を見ると、「勉強」「金銭問題」「ゼミ・研究活動」が共通したストレス源であることが分かる。選択した「ストレス」の数の平均は、男子の2.6に対し、女子は3.2で、女子の方が比較的多くのストレス源を抱えているようだ。

三つの調査の結果から、学生の悩みで特に多いのは就職や進路についてのものであることがわかった。また、大学や性別などによって、悩みの傾向をまとめられることにも気づいた。

### 3. 学生の悩みを解決するためには

前章では大学生の抱える悩みに関する調査を紹介した。では、そういった悩みはどのようにすれば解消できるのだろうか。今まで紹介した調査で特によく悩みとして挙げられていた「就職や進路」についてのものを紹介する。

まず、国や地方公共団体が行っている「大学生の悩みに対する支援策」を述べる。今まで紹介した調査で特に悩みとして挙げられていた「就職や進路」についてのものを中心に紹介する。

厚生労働省は、大学生や大学卒業後未就職の者などを専門に支援する「新卒応援ハローワーク」を全国に設置（平成30年12月1日現在、56か所）し、広域的な求人情報の提供、職業紹介、中小企業とのマッチング、求人開拓、就職支援セミナー・面接会の実施を行っている。また、大学などへのジョブサポーターの相談窓口設置・出張相談を実施するなど、学校とも連携を強化している。これらの新卒応援ハローワークの支援により、平成29（2017）年度は約44.9万人が新卒応援ハローワークを利用し、約10.3万人の就職が決定した。

厚生労働省委託の支援機関には、地域若者サポートステーション（通称サポステ）というものがある。この機関の目的は、本人の働き出す力を引き出し、職場定着するまでを全面的にバックアップすることである。具体的には、コミュニケーション講座や就業体験、ビジネスマナー講座などの形で支援を行う。また、就職後の悩みや不安についても相談に応じている。サポートステーションは利便性を考慮し、各都道府県に必ず設置するようになっている。現在は全国177ヶ所に設置されているようだ。

サポステの他にも、各都道府県には学生の悩みに対応するため様々な機関が設置されている。京都産業大学のある京都市には、「京都市ユースサービス協会」というものが存在する。京都市ユースサービス協会は1988年（昭和63年）3月に、青少年の自主的な活動の振興を図ることにより、京都市の青少年の健全な育成に寄与することを目的に設立された。京都市や、青少年団体、青少年の育成に関わる人たち、そして青少年自身と協力しあいながら活動を展開している。具体的には、京都市内の7つの青少年活動センターと、「京都市子ども・若者総合相談窓口」、「子ども・若者総合相談指定支援機関」を京都市より、「京都若者サポートステーション」を厚生労働省と京都市より委託を受けて運営を行っている。

大学組織、また民間にも学生の悩み、特に就職や進路についてのものに応じる機関は存在する。ここでは「sAI Chat for University」を紹介しよう。これは、民間と大学とか協力して学生を支援するケースの一例である。

株式会社サイシードは、埼玉大学の就職課に対して、2017年9月よりLINE公式アカウント（企業が自社の公式アカウントを開設できるサービス）を使った就職相談に特化したAIチャットサービス「sAI Chat for University」を提供している。埼玉大学において、学校教育と学生の学修環境を確保しつついかに効率的に、そして確実に支援を希望する学生の就職活動をサポートできるかが課題となっていた。さらに、既存の学内ポータルシステムを使用した就職支援では、就職支援課からのメッセージが埋没してしまったり、コミュニケーションに手間がかかってしまったりもしていた。「sAI Chat for University」を導入したことで、学生は使い慣れているLINEを使って、いつでもどこでも質問や相談をすることが出来るようになった。「sAI Chat for University」には、就職活動でよく聞かれる質問とその回答文500種類が予め登録されている。質問が来るとAIが質問の中から最も近い回答をアドバイザーに提示する。また、sAI Chat for University を使えば対象を絞って情報を配信したり、過去の相談履歴を使って複数のアドバイザー間で情報共有を行ったりすることもできる。埼玉大学では、就職支援 LINE 公式アカウントへの加入（友だち追加と会員登録）は学生個々の裁量に任せており、あくまで自主的に登録した学生のみがサービスを活用できるという状態だという。それにも関わらず、2019年3月現在で2,600名もの登録者がおり、そのうち850名ほどは就活生の中でもスタートダッシュが早いという結果に繋がっているようだ。

sAI Chat for University は他大学での使用事例がまだ見られなかった。埼玉大学ではメリットが多く見つけていたが、まだ明らかにされていないデメリットも多いだろう。また、sAI Chatは初期費用だけで最低でも50万円、さらに月額費用が最低20万円かかる。他大学に浸透させるのには、まだまだ時間がかかるのではないだろうか。

ここで、私の通っている京都産業大学の進路・就職支援について紹介する。京都産業大

学が行う就職支援で代表的なのは、以下の三つである。

一つ目は進路・就職支援センターである。約70名のスタッフが学生をサポートする。

二つ目は学生就職アドバイザーである。就職活動を終えて進路が決定している4年次生が就職相談に気軽に応じる。

三つ目はキャリア教育である。京都産業大学の「キャリア形成支援プログラム」では、4年間で「大学での学び」と「社会での実践」を段階的に積み重ねていくことで、学生の個性や自主性を養い、自ら考え行動する「社会で活躍できる人材」を育成しているという（資料3も参照）。1年次には「自分は将来何がしたいのか」、「大学生活をどう過ごすべきか」といった自己理解や他者理解を深め、充実した大学生活をプランニングしていく。また、短期のインターンシップやグループワークなどを通じて、大学での学びや体験が社会といかにつながっているかを知り、視野を広げる。2年次には企業と連携した課授業などで実社会の課題に取り組み、社会に向き合うための準備をする。3年次では、1・2年次よりも高度な内容の授業、また国内外で5日間から約1ヵ月のインターンシップなどに参加し、学んできた知識・スキルを実践し、さらに高める。企業と連携する、または企業でインターンシップをする中で、大学での「学び」が実社会でどのように役立つのかを理解する。4年次には所属学部の特設教育や共通教育、課外活動等で培ってきた知識、経験、職業観などから、大学での「学び」を実社会でどのように活かしていきたいのか、卒業後、どのように社会で働くのかなど、卒業後のキャリアを具体的に描き、卒業後の自分と実社会とを「むすぶ」。

### 3. おわりに

これまで、大学生の抱える悩みについての調査、それについての具体的な対策について述べてきた。

大学生の抱える悩みについては、過去の調査から特に多いのは就職や進路についてのものであることがわかった。そのため、学生の抱える悩みへの対策も就職や進路についてのもを中心に述べた。大学組織はもちろん、国や地方公共団体、民間が進路や就職、そしてその他の学生の悩みもサポートしていた。また、他機関と連携して支援を行っている例も多くあった。

私の通っている京都産業大学は、学生相談室、ピア・サポーター、進路・就職支援センターなどを用意し、個別の悩みに対応している。また、組織だけでなく、奨学金や授業という形でも学生をサポートしていた。

ここで大学組織の支援に関連する調査として、日本学生支援機構の「大学等における学生支援の取組状況に関する調査」を紹介する。この調査は全国の大学、短期大学及び高等

専門学校を対象とし、平成 29 年に行われたものである。この調査のうち、「学生支援の取り組み」、「就職支援の課題」の項目について述べる。

学生支援の取り組みの結果は、「5（効果を上げていると強く思う）」と「4」を合わせた割合を見ると、各学校種ともに7割程度となっていた。大学全体を設置者別で見ると、国立大学が83.7%で最も高くなっている。また学生支援のための組織の設計や運用等における課題については、各学校種ともに「業務の量的増加や質的多様性による負担増」の割合が最も高くなっており、他に「スタッフの量的な不足」や「学生が抱える支援ニーズの組織的把握」、「スタッフの能力開発」も高くなっていた。

就職支援の課題については、「学生の就職・就職活動に対する意欲・意識の育成」が大学全体で64.9%と最も多かった。さらに「障害のある学生に対する支援」(56.0%)、「学生の自己理解・自己管理能力の育成」(53.6%)、「複数の内定を獲得する学生と、内定の決まらない学生の二極化」(53.3%)も高い割合となっている。

「大学等における学生支援の取組状況に関する調査」の結果を見ても、少なくとも大学での取り組みは効果を上げているケースも多いように感じられる。しかし同調査からは「スタッフが不足している」、「学生ひとりひとりへの対応が十分でない」などといった課題もあることがわかる。

これまで述べたように、確かに全国的に学生への支援を行っているというケースもあった。しかし、大学や地域によって支援が異なるケースも多くある。学生の悩みも、男女別・通っている大学別にある程度はわけられるとしても、違いがあるだろう。

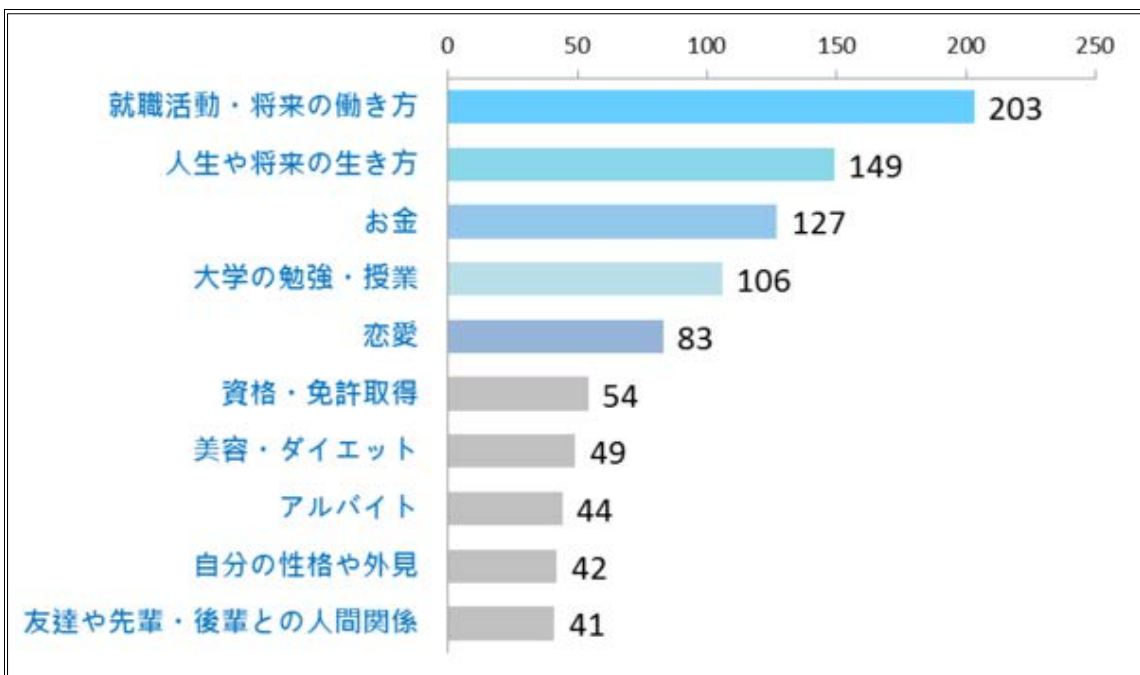
前記の「2020年卒マイナビ大学生のライフスタイル調査」には、「今何に楽しさを感じるか」という項目もあった。ここでは、文理・男女ともに「会って話す」が最も多く選ばれている（資料4参照）。学生ひとりひとりの悩みに対応するためには、組織による支援だけでなく、教員や同級生、家族や地域の人々といった周りの人々の協力も必要なのかもしれない。

<資料一覧>

資料1 「現役大学生 1000 人に聞いた！ 今、一番悩んでいること

ランキング Top10」

1位	就職活動・将来の働き方について	203人（20.2%）
2位	人生や将来の生き方について	149人（14.8%）
3位	お金について	127人（12.6%）
4位	大学の勉強・授業について	106人（10.6%）
5位	恋愛について	83人（8.3%）
6位	資格・免許取得について	54人（5.4%）
7位	美容・ダイエットについて	49人（4.9%）
8位	アルバイトについて	44人（4.4%）
9位	自分の性格や外見について	42人（4.2%）
10位	友達や先輩・後輩との人間関係について	41人（4.1%）

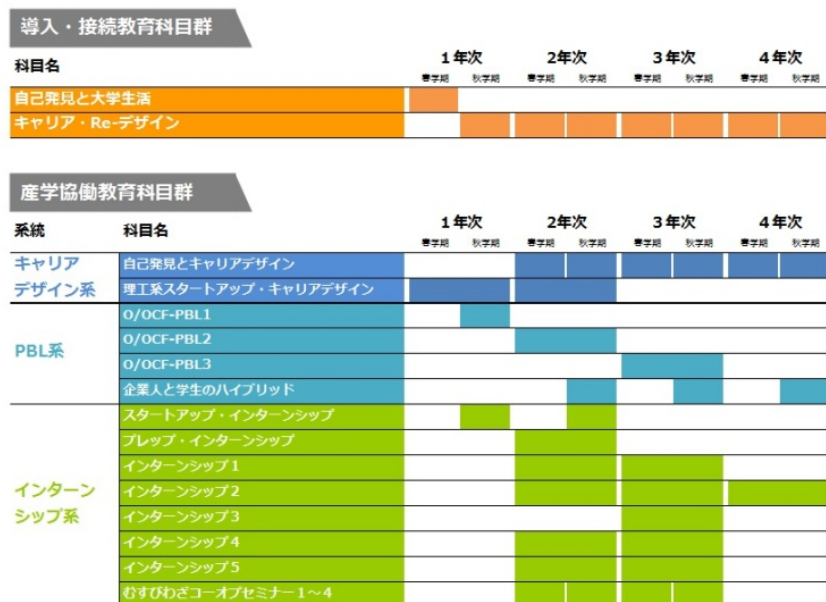


資料2 今何に「ストレス」を感じているか（当てはまるもの全てを回答）

文系男子			文系女子		
1位	就職活動	48.7%	1位	就職活動	63.5%
2位	勉強	22.9%	2位	金銭問題	27.6%
3位	金銭問題	22.1%	3位	アルバイト	26.6%
4位	アルバイト	20.3%	4位	勉強	25.0%
5位	ゼミ・研究活動	17.9%	5位	ゼミ・研究活動	21.7%
理系男子			理系女子		
1位	就職活動	47.6%	1位	就職活動	57.3%
2位	ゼミ・研究活動	28.4%	2位	勉強	29.5%
3位	勉強	28.0%	3位	ゼミ・研究活動	27.0%
4位	金銭問題	21.5%	4位	金銭問題	22.7%
5位	アルバイト	16.6%	5位	友人関係	21.9%



資料3 京都産業大学 2019年度開講「キャリア形成支援教育科目」体系図



資料4 今何に「楽しさ」を感じているか (当てはまるもの全てを回答)

文系男子			文系女子		
1位	会って話す	44.0%	1位	会って話す	58.0%
2位	ゲーム	30.7%	2位	旅行	40.4%
3位	サークル・部活動	28.2%	3位	SNS(Instagram、Twitterなど)を見る	39.4%
4位	音楽鑑賞	26.1%	4位	音楽鑑賞	39.3%
5位	旅行	25.7%	5位	食事	39.2%
理系男子			理系女子		
1位	会って話す	44.1%	1位	会って話す	57.1%
2位	ゲーム	37.3%	2位	食事	44.2%
3位	音楽鑑賞	28.1%	3位	睡眠	38.6%
4位	旅行	26.1%	4位	音楽鑑賞	37.2%
5位	映画鑑賞	25.4%	4位	SNS(Instagram、Twitterなど)を見る	37.2%

## <参考文献>

独立行政法人日本学生支援機構「平成 28 年度 学生生活調査」

[https://www.jasso.go.jp/about/statistics/gakusei\\_chosa/\\_icsFiles/afieldfile/2018/06/01/d\\_ata16\\_all.pdf](https://www.jasso.go.jp/about/statistics/gakusei_chosa/_icsFiles/afieldfile/2018/06/01/d_ata16_all.pdf)

(閲覧日：2019/09/11)

マイナビ 学生の窓口 「現役大学生 1000 人に聞いた！ 今、一番悩んでいることランキング Top10」

<https://gakumado.mynavi.jp/gmd/articles/51754>

(閲覧日：2019/09/11)

マイナビ 新卒採用サポネット 「2020 年卒マイナビ大学生のライフスタイル調査」

<https://saponet.mynavi.jp/release/student/life/mynavilifestyle2020/>

(閲覧日：2019/09/11)

全国大学生生活協同組合連合会 「第 54 回学生生活実態調査の概要報告」

<https://www.univcoop.or.jp/press/life/report.html>

(閲覧日：2019/09/11)

内閣府 「令和元年版 子供・若者白書（全体版）（PDF 版）」

[https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/r01honpen/pdf\\_index.html](https://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/r01honpen/pdf_index.html)

(閲覧日：2019/09/22)

文部科学省 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kaikaku/coc/](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/coc/)

(閲覧日：2019/09/22)

サポステ 地域若者サポートステーション

<https://saposute-net.mhlw.go.jp/index.html>

(閲覧日 2019/09/16)

京都府 家庭支援総合センター

<https://www.pref.kyoto.jp/kateisien-sogo/>

(閲覧日：2019/09/16)

一般社団法人 京都自立就労サポートセンター

<http://www.kyoto-ps.com/>

(閲覧日：2019/09/16)

若者と未来を創る 京都市ユースサービス協会

<http://ys-kyoto.org/>

(閲覧日：2019/09/16)

時事ドットコムニュース 「大学の就職課に対して、LINE公式アカウントを使った就職相談に特化したAIチャットサービス『sAI Chat for University』の正式提供を開始」

<https://www.jiji.com/jc/article?k=000000033.000015946&g=prt>

(閲覧日：2019/09/16)

Sciseed 「LINE 公式アカウントと sAI Chat の活用でより迅速に、きめ細かなサポートが可能に ～埼玉大学就職支援における導入事例～」

<https://saichat.jp/saichat/saichat-case/saitama/>

(閲覧日：2019/09/16)

Sciseed

<https://saichat.jp/>

(閲覧日：2019/09/22)

京都産業大学 就職・キャリア教育

<https://www.kyoto-su.ac.jp/career/index.html>

(閲覧日：2019/09/21)

独立行政法人 日本学生支援機構 「大学等における学生支援の取組状況に関する調査 (平成 29 年度)」

[https://www.jasso.go.jp/about/statistics/torikumi\\_chosa/2017.html](https://www.jasso.go.jp/about/statistics/torikumi_chosa/2017.html)

(閲覧日：2019/09/12)